

令和3年度

# 学校評価報告書

智辯学園奈良カレッジ小学部

学校法人 智辯学園

# 1. 学校評価総括

建学の理念	「誠実・明朗」 ー心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成するー	
教育目標	<p>1. 能力を最大に伸ばす ー学力向上の取り組みの充実ー</p> <p>2. 豊かな人間性を育む ー心を育む教育の推進ー</p> <p>目標とする人物像</p> <p>1. 明朗で知性溢れる人</p> <p>2. 不屈の精神を持って使命感を全うする人</p> <p>3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人</p> <p>4. この世に生を受けた幸福を知る人</p>	
これまでの成果と課題	<p>本校は、建学の精神のもと、児童一人ひとりが自ら考えて行動すること、感謝の気持ちを持つこと、当たり前前を当たり前にするのが大切であると考えて教育に取り組み、一定の評価をいただいている。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が教育に大きな陰を落とした一年であった。感染防止に努めながら、少しずつコロナ禍以前の教育活動に戻すことができた。特に、教育のICT化は予想以上に推進することができ、今では児童一人ひとりの学力伸長に欠かせないツールとなっている。一方、本校が従来より基軸としている宗教的情操教育についても、宗教(道徳)教育等、児童の心の教育に力を尽くした。今後は、新型コロナウイルス感染予防を継続させつつ、宿泊行事や保護者参観等の学校行事はできるだけ実施したいと考えている。</p>	
本年度の重点目標	具体的目標	総合評価
確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた子どもの育成	<p>1. 知的好奇心に溢れ、主体的に学ぶ意欲と態度の育成を通じた、確かな学力の向上</p> <p>2. 友達とのつながりを大切にした、豊かで優しい人間性と社会性の育成</p> <p>3. 粘り強い気力・体力の養成と、望ましい生活習慣の定着</p>	<p>基礎学力の定着を第一と考え、毎日の課題に丁寧に取り組むよう指導できている。児童の実情に応じた、きめ細やかな指導を大切にしてきたが、今後も続けていきたい。特に、ICT機器を活用したアダプティブラーニングや個別指導等、児童一人ひとりに応じた教育も推進する。また、宗教(道徳)の授業を通して「感謝の心」「相互礼拝・相互扶助」の精神や人としての基盤を養うための取り組みは本校教育の根幹であり、今後もしっかりと継続していく。</p>
教員の意識改革と授業改善	<p>1. 「わかる楽しさ、できる喜び」のある授業作り</p> <p>2. 人に優しく、誇り高い行動をしようという意識の育成</p> <p>3. 子ども自身に考えさせる教育</p>	<p>講義型からアクティブラーニングを意識した授業への転換を目指す中、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、グループワーク等の活動に対する制約もあり、講義型の授業の機会が増えている。その中で、ICT機器による学習が多様化した。中でも、児童のプレゼンテーション力が伸びている。児童一人ひとりが自分の意見を伝える、あるいは他の児童の意見を聞き、理解を深める活動は今後も大切にしていきたい。</p>
教員組織の活性化	<p>1. 機能的な組織作り</p> <p>2. 教員の相互理解と協働</p>	<p>校務分掌に沿って、日常の業務は機能的に運営されているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修の機会や情報交換の場が減少し、相互理解を深めることが困難であった。感染予防に配慮しつつ、研修の機会や協働の場を増やしたいと考えている。</p>
入学志願者・入学者の安定確保	広報活動の充実	<p>コロナ禍の影響もあり、志願者がなかなか増加しないのが現状である。今後は、説明会や体験会の回数を増やし、ポスターやチラシ配布を積極的に行って本校の魅力のアピールし、入学志願者を増やす不断の努力を継続する。</p>

## 2. 教育活動に関する評価（内部評価）

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	評価結果	
建学の理念に基づく 学校運営方針	学校運営方針の策定	建学の精神に基づいた学校運営方針を策定し、それに則った教育が行われている。	A	A
	教育目標	宗教的情操に基づき豊かな心を持つ教養人を育成している。	A	
		児童の能力の最大開発のため誠心誠意教科指導している。	A	
教科指導	学習指導計画	年間教育計画に則った授業が行われている。	A	A
	学力養成	「わかる楽しさ、できる喜び」のある授業づくりを心掛け、確かな学力を養う授業が行われている。	A	
	家庭学習	各学年に応じた家庭学習が推進されている。	A	
総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間等に、里山等を用いて、教科横断的・総合的な課題解決学習が行われている。	A	A
英語教育	英語教育	会話重視の英語教育が行われている。	A	A
ICT教育	ICT教育	タブレット端末を利用した学習が推進されている。	A	A
特別活動	学校行事	学校、学年、学級行事に意欲的に推進している。	A	A
	児童会・クラブ活動の活性化	児童会やクラブ活動で自主性を重んじた活動を推進している。	A	
道徳（宗教）教育	道徳（宗教）教育	基本的な道徳的価値観や実践力の育成に取り組んでいる。	A	A
人権教育	人権教育指導計画の立案と実施	各学年に応じた目標と年間指導計画を作成し、それに基づいた授業が行われている。	A	A
	いじめ対策	学校いじめ防止基本方針をもとに、いじめの予防、早期発見、問題解決に組織的に取り組んでいる。	A	
児童指導	生活指導	学校の決まりや生活目標が共通理解できている。	A	A
		規範意識、通学マナーの向上に取り組んでいる。	A	
	学年経営・学級経営	学年の教育目標や学級経営案を作成し、実行している。	A	
		児童一人一人を我が子のように大切にした教育が行われている。	A	
進路指導	中学部進学	中学部進学に向けて高学年の児童や保護者に適切な情報を提供している。	B	B

評価は4段階 A…できている B…ほぼできている C…あまりできていない D…できていない（要改善）

## 3. 学校経営に関する評価（内部評価）

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	評価結果	
安全管理	通学時の安全管理	通学の安全管理のため、各児童の通学経路等を集約できている。	A	A
	施設設備の安全管理と防災・避難訓練	校内の施設・設備の安全、維持管理がなされているとともに、防災・避難訓練を計画的に行っている。	A	
	関係諸機関との連携	不審者情報の共有等、関係機関との連絡をしている。	A	
保健管理	学校保健計画の立案	学校保健計画を作成し、そのスケジュールに従って健康診断や身体測定等を実施している。	A	A
	健康増進・体力づくり	運動への意欲・関心を高めて、児童の健康増進や体力づくりに取り組んでいる。	A	
	関係諸機関との連携	保健所、学校医などとの連絡体制を整えている。	A	

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	評価結果	
家庭との連携	学校情報の発信	定期的に学校通信や学年通信、保護者会などで教育内容や計画を家庭に伝えている。	A	A
	家庭との連携	家庭との連絡や相談が必要に応じて適切に行われている。	A	
	育友会の活性化	学校と育友会の結びつきを強化し、協力を得ている。	A	
組織運営	校務分掌等の連携	校務分掌ごとの話し合いがなされ、組織が機能している。	A	A
	主任者会議・職員会議	会議で話し合われたことが、教育活動や学校運営に生かされている。	A	
	職場の人間関係	教職員相互の連絡が円滑で、意欲や力が発揮できている。	B	
情報管理	公文書・帳簿類の保管・取り扱い	公文書や帳簿が整理・保管され、遅滞なく公文書が処理されている。	A	A
	個人情報の保護、管理	個人情報がしっかり保護され、管理できている。	A	
児童募集・広報	入試広報	計画的に入試広報活動を実施している。	A	A
	募集広報	ホームページの更新や学校案内の配付を積極的に行っている。	A	

#### 4. 保護者による評価

大項目	質問事項	評価結果 (平均値)
建学の理念に基づく学校運営方針	建学の理念や教育目標にそった教育が行われている。	1.25
道徳（宗教）教育	あらゆる機会を通じて道徳心の育成を行っている。	1.17
教科指導	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	1.21
生活指導	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	1.21
いじめ問題	学校として、未然防止も含め、いじめ問題に真摯に取り組んでいる。	1.29
学校行事	学年行事や運動会・文化祭などの学校行事が積極的に行われている。	1.17
施設・設備	学校の施設や設備は整備されている。	1.21
教育相談	悩みや困ったことについて、本校の教員に気軽に相談できる。	1.21
家庭との連絡	家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	1.25
学校生活	お子さんの学校生活は充実している。	1.13

評価は4段階 1…できている 2…ほぼできている 3…あまりできていない 4…できていない（要改善）

※上記の「保護者による評価」は令和3年度育友会役員、実行委員の皆様をお願いして評価していただきました。